

## 日本の貸出市場・預金市場での集中度を計測する

植杉 威一郎 \* 平賀 一希 \*\* 真鍋 雅史 \*\*\* 吉野 直行 \*\*\*\*

### 報告要旨

本研究は、日本に所在する金融機関の店舗における貸出額と預金額の情報を用いて、はじめて網羅的に地域金融市場における集中度を計算し、その性質を統計的に明らかにする。2005年から2019年までの期間について、都道府県や都市雇用圏ごとに、貸出と預金に関するハーフィンダール・ハーシュマン指数（HHI）を算出し、地域間での差異や時間を通じた変化の様子を示す。更に、HHIの要因分解を行うとともに、金融機関合併に伴うHHIの上昇程度やその持続性についても検証する。得られた主な結果は以下の通りである：(1)貸出HHIと預金HHIは上昇傾向にあるが、大都市圏に属する都府県でもともと低かった貸出HHIの水準が更に低下する傾向がみられる。(2)HHIの上昇には、金融機関数の減少だけではなく、金融機関間のシェアのばらつきの拡大がより大きく影響している。(3)金融機関合併による貸出HHI上昇は一定期間持続するが、市場集中度が低く市場での競争が激しい地域では、貸出HHI上昇の持続期間が短くなる傾向にある。

キーワード：ハーフィンダール・ハーシュマン指数；市場集中度；競争度；金融機関合併

---

\* 一橋大学経済研究所教授（前金融庁金融研究センター特別研究員）、Corresponding author.

\*\* 東海大学政治経済学部准教授（前金融庁金融研究センター特別研究員）

\*\*\* 嘉悦大学ビジネス創造学部教授（前金融庁金融研究センター特別研究員）

\*\*\*\* 慶應義塾大学名誉教授、金融庁金融研究センター長